



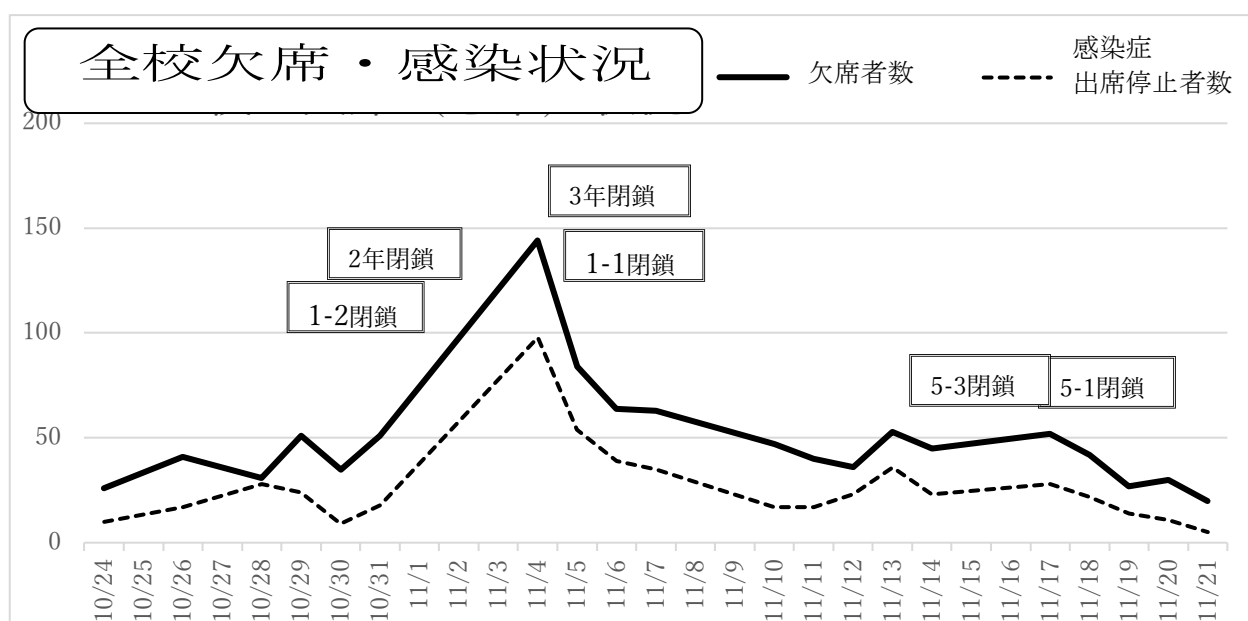
2025年 12月 3日
町田市立南第一小学校
校長 安東 深雪
養護教諭 新井 典恵

今年は例年より早い流行開始と、過去10年間で最大規模の流行の可能性が指摘されているインフルエンザ。11月末までの全国の流行状況やエビデンス情報が報道されています。

- ① インフルエンザA型の原因ウィルスに「サブクレードK」という変異株が検出
(従来のA型より腹痛・下痢・嘔吐などの**消化器症状の発症例**の傾向あり)
- ② 既存免疫(ワクチンや過去感染で獲得抗体)が十分に作用しない可能性あり
- ③ 今期予防接種ワクチンは、従来より、その効果が低下の可能性があり
(流行感染拡大・重症化予防の観点から、引き続きワクチン接種は推奨されています)



南一小では11月中旬よりインフルエンザA型の報告が増え始め、複数の学級・学年で閉鎖対応(グラフ参照)、本校の発生状況も上記の点から異例の大流行であったことがわかりました。



12/1現在、全校の罹患報告は1桁まで減少して、流行第1波は落ち着いた状況ですが、近隣校では、A型第2波の流行到来やB型罹患報告も発生しています。罹患率の低い(閉鎖未対応)学級では、今後、感染拡大する可能性があり、十分注意して予防対策しています。

急な学級閉鎖を回避するため、欠席者増加の場合には「健康観察のお願い」をテトル配信していますが、週明けや予測不能で急な閉鎖対応の実情もあります。

流行期には、各家庭で、以下について特にご留意をお願いいたします。

- 登校前に検温・健康観察をして、予防マスクの着用をする(推奨)
- 発熱を伴う不調の場合は、無理をせず、自宅安静で経過観察をする
- 欠席状況の家庭通知(テトル配信)や、お子さんとの会話で学校・学級の情報を共有する



学校内で感染拡大を防ぐための【学校医からの助言】

- ・ 流行期、発熱（高熱でなくとも）症状があれば、インフルエンザ疑いの対応
- ・ 抗インフルエンザ薬は、ウィルスの増殖を抑える薬で、解熱＝完治ではない。
罹患者は「**発熱後5日間、または解熱しても最低2日間は、自宅安静**」を厳守

完治して
から
登校！

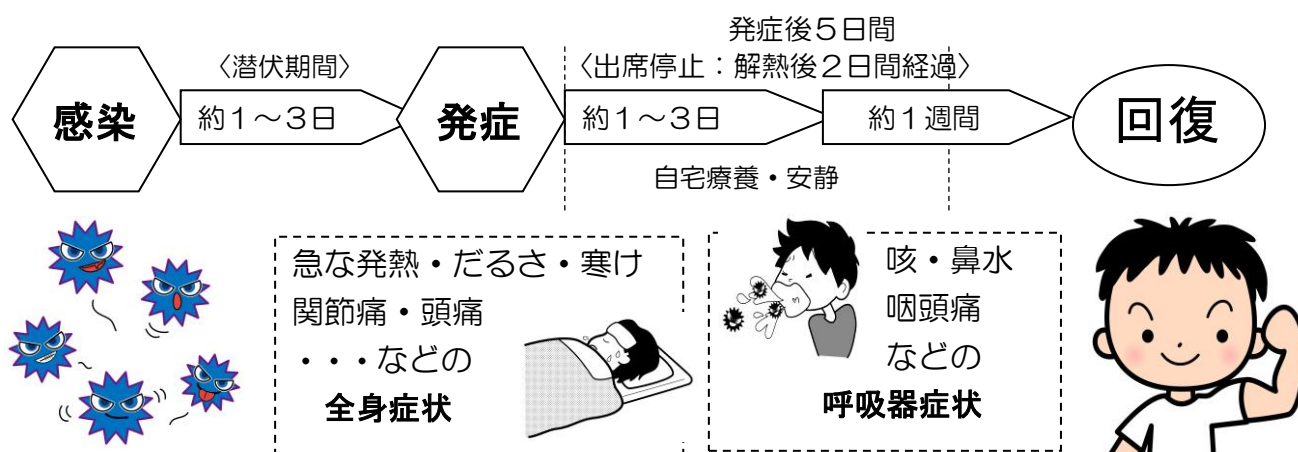
☆インフルエンザ診断が出た際は早急に学校へ連絡し、登校再開日には、必要事項を記載した「登校報告書」を提出してください。

☆「登校報告書」の提出により、医師の指示があった期間は欠席ではなく、『**出席停止**』となります。



インフルエンザ感染・発症から回復まで

～「インフルエンザに感染した患者さんへ」 監修 東北大学 教授 渡辺彰先生～



☆ インフルエンザウィルスを吸い込むことにより感染し、ウィルスが猛スピードで増殖するため、急激に症状が進行して発症します。また、ウィルス侵入してもワクチン抗体や免疫力の関係で 発症しない(もしくは軽症)不顕性感染 の場合もあります。

☆ インフルエンザ検査キットは、十分なウィルス増殖により、反応が出るしくみで、発熱後8～12時間以降でないと、検査で反応がでないことがあります。



発熱症状があったら、半日ほどは安静にして様子を見て、お熱が下がらないときは、受診しましょう。

☆ 一般的に、インフルエンザ発症時、発熱があり、次第に改善していきますが その数日後に、再び発熱を起こす(二峰性発熱) 場合があります。


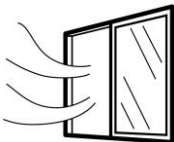
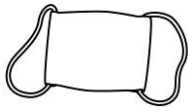



☆ 熱が下がっても、体内のウィルスがなくなったわけではなく、解熱後しばらくはウィルス排出され、他の人に感染する可能性があります。



インフルエンザ診断が出たら、「発症後5日間、解熱後2日経過するまで」の出席停止期間を守って、自宅休養しましょう。



冬に流行しやすい感染症に対する取り組み

<div>取 り 組 み 内 容</div> 	<div>おうちの方へお願い と お知らせ</div>
<p>【児童の健康状態の把握】 朝の健康観察（欠席者・理由や健康状態） <u>tetoru（テトル）</u>で学校全体の状況把握</p>	<p>●欠席や遅刻の場合は、その理由も含め、 <u>tetoru（テトル）</u>にてお知らせください。 （やむを得ず電話の際も始業前の8:25 までに）</p>
<p>【教室の環境づくり】 ◎学校薬剤師による空気の検査 ◎望ましい教室の温度：18～20℃ 湿度：50%前後 →各教室に暖房機器稼働時も、 望ましい教室環境に心がける ◎通風：教室欄間は常時開放 ◎換気：毎時間授業後、窓と ドアを開け、空気の入れかえをする ◎各学級に加湿空気清浄機設置</p> 	<p>●教室内は、ジャンパー・コート類など防寒着は着用ません。 衣服の調節ができる服装で登校させてください。 ●下着を身につけて、身体を保温しましょう ●感染拡大時にそなえてランドセルにマスクを一枚常備してください。</p>  <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin-top: 10px;"> <p>学校で嘔吐してしまった場合は、「吐物処理セット」で消毒対応しています。 感染性胃腸炎の疑いを含め、学校で衣類の洗浄不能なため、汚れた衣類は袋にまとめて、持ち帰ります。ご家庭で対処をお願いします。</p> </div>
<p>【保健指導による意識づくり】 ◎保健委員会児童による啓発 ～「新型流行までもうってかえす感染症予防」 ◎朝の健康観察時に各学級で（11～2月） 「ハンカチ持参チェック」週間実施予定 ◎手洗い、教室の窓開け・換気の呼びかけ</p>	<p>●手洗い後、手をふくキレイなハンカチを持たせてください。</p>  <p>●家庭でも、手洗いとうがいの習慣、換気・栄養・睡眠に気を付けましょう。</p>
<p>【感染拡大期の対応】 ◎学級内で不調による欠席率が20%に達して欠席が多くなってきた場合 →保健室から体温計を持参し、登校児童の検温・養護教諭の学級指導 ◎全容状況により、学校医へ報告・相談をし経過観察または閉鎖措置の検討をします。</p>	<p>●感染拡大状況が認められる場合は「健康観察のお願い」などで学級の状況をテトル通知します。 ●閉鎖措置となった場合は登校再開前に「健康観察アンケート」をテトル配信し、全児童の閉鎖期間中検温・健康状態などを確認します。 必ずアンケート回答をお願いします。</p> 
<div style="display: flex; align-items: center;">  <div> <p>*インフルエンザなど感染症流行・拡大期の発熱・体調不良・嘔吐は、早めの対応で家庭連絡をし、お迎えをお願いしています。</p> <p>緊急連絡のとれないことのないようにご配慮をお願いします。</p> <p>また、緊急連絡先が変更になった場合は、随時、連絡帳などでご連絡ください。</p> </div> </div>	

